

「川内北中学校の「薩摩川内市あれこれ新聞」の取組」

1 学校名

薩摩川内市立川内北中学校

2 学年・人数

1年 266人

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

ふるさと・コミュニケーション科の時間や夏休みの課題
薩摩川内市立川内北中学校

(2) 発表の日時・場所

ふるさと・コミュニケーション科の時間・文化祭
薩摩川内市立川内北中学校

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

たいへいじ 泰平寺 (708年), わぼくせき 和睦石 (1587年), たいへいばし 太平橋 (明治8年)

にったじんじゃ えのさんりょう 新田神社・可愛山陵 (明治7年)

さつまこくふ さつまこくぶんじあと 薩摩国府・薩摩国分寺跡 (702年・741年)

その他 (校区外の史跡)

(2) 特徴

校区内外の史跡等を調べたりまとめたりする活動を行った後、「薩摩川内市あれこれ新聞」を作成し、文化祭で発表・展示をしている。

5 保存会や地域との連携の具体

夏休みの課題として、史跡等の調べ学習を行わせている。調べ学習において、史跡保存会や地域の有識者からの聞き取りを行ったりしている。

6 活用の取組の工夫した点

夏休みの課題にすることで、時間のゆとりができ、職員も一緒に史跡等を調べることができた。また、新聞にまとめ、文化祭で展示し、他の生徒や保護者を対象に発表をした。

7 取組の様子（研究発表等）



〔調べた内容をプレゼン発表(リモート)〕

〔別会場で保護者も発表のようすを参観〕



〔調べた内容を新聞にまとめ、展示〕



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【生徒の感想】

改めて自分たちが住んでいるすぐ近くの史跡について知ることができ、良かった。

新聞も協力してつくることができ、みんなに読んでもらえたので、良かった。他にもたくさんの史跡があるので、調べていきたいと思った。